

山形県立新庄病院だより

わかば



令和5年
10月

新病院開院
特集号

10月1日 新たな県立新庄病院が開院します

- ◎ 新病院開院について～八戸院長から皆様へ～
- ◎ 新病院開院によせて～新庄市最上郡医師会、新庄地区歯科医師会より～
- ◎ 新設される地域救命救急センター、総合患者サポートセンターのご紹介
- ◎ 新設される診療科を含めた診療体制のご案内
- ◎ 薬剤部、栄養管理室からのお知らせ



安全、安心、信頼の医療を



YAMAGATA PREFECTURAL
SHINJO HOSPITAL

山形県立新庄病院

〒996-8585

山形県新庄市金沢720番地の1

0233(22)5525

<http://www.ysh.pref.yamagata.jp> (公式サイト)

<https://shinjo-resident.jp/> (リクルートサイト)

＼HPとSNSでも情報発信しています／



ホームページ



LINE



facebook



X

新しい県立新庄病院について

「仁」、「愛」、「和」の心をもって、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供し、最上二次保健医療圏唯一の中核病院としての使命を果たすこと。これは、山形県立新庄病院が掲げている理念です。

この理念実現に少しでも近づくためには、病院で働く私たち職員の普段の努力はもとより、患者さんの入院及び外来環境の改善、医療施設などの更新のために新病院の建築が必要であると、歴代の院長は様々な関係者をお願いをしております。

この度、地元市町村や関係団体、そして地域の皆様にご支援やお力添えをいただき、新病院が完成し、無事移転することができました。併せて院内保育所を整備していただき、子育て世代の職員が安心して働ける環境が整備されました。

改めてご協力をいただいた方々に深い敬意と感謝を申し上げます。

新病院の大きな特徴として「地域救命救急センター」と「総合患者サポートセンター」の設置が挙げられます。地域救命救急センターは患者さんの安心のため、最善の医療を尽くす「仁」と「愛」、総合患者サポートセンターは地域の医療・保健・福祉の連携の「和」と、いずれも本院の理念を具現化するものであります。

両センターの他にも、新築移転を契機として診療科を新たに7科増やし28科とし、専門的な医師などの配置によりきめ細かな診療が可能となります。一方で「総合診療科」を院内標榜し、どの診療科を受診すればよいか分からない患者さんについても、心身状況や家庭環境などを俯瞰的に診察し、病気の診断や適切な診療科に紹介するなど隙間なく患者さんに対応することとしております。また、最新鋭のCT、MRIなどの医療機器も導入され、迅速で正確な診断や治療に貢献することが期待されています。

本院の理念の実現に向けて、施設を新しくしていただいたことを一つの大きなモチベーションとして、これからも職員一丸となり、より良質な医療を地域に提供してまいります。

山形県立新庄病院

院長

八ノ茂美



○新病院のプロフィール

住 所	〒996-8585 山形県新庄市金沢720番地の1
敷地面積	55,582㎡
構造・規模	病院棟：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造（免震構造） 地下1階、地上6階建て 延べ床面積25,826㎡ ※その他エネルギー棟、院内保育所があります。
付属施設	院内保育所、車庫、駐輪場、倉庫等 平面駐車場 約850台（うち身体障がい者等用屋根付き駐車場20台） 地上ヘリポート
診療科 病床数	28科・325床

新病院開院によせてメッセージをいただきました。

一般社団法人新庄市最上郡医師会 会長 土田 秀也 様

新病院オープン、誠におめでとうございます。

これまでの長い期間にわたり、ご努力いただいた方々に心より敬意を表します。新病院はより大きな駐車場や充実した設備だけでなく、歯科をはじめ多くの専門科が増設され、患者さんの利便性が一層増すものと期待しております。

当医師会にとりましても、二つの点で意義深いものがあります。

まず、新庄市夜間休日診療所が発展的に解消し、これまでと同じく新庄市の財政的援助を受けながら地域救命救急センターの一部になります。軽症患者さんを医師会員が診察することにより、病院当直医の負担をわずかながらも軽減しながら開業医との連携も一層密になることを期待しています。

もう一つは、総合患者サポートセンター内に、最上8市町村が共同で設置する「在宅医療・介護連携拠点」の存在です。病院と地域の医療・介護に携わる人たちの橋渡し役となり、住民の方々によりきめ細かなサービスを提供できるとともに、専門職どうしの研鑽の機会が増えることにより仕事へのモチベーションがアップすると思います。

以上のような全国初の取り組みをお互いの協力で充実したものにすることで、“住んでいてよかった、働きがいがある”と実感できる地域に行きたいと思います。

みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



一般社団法人新庄地区歯科医師会 会長 伊藤 直樹 様

県立新庄病院開院おめでとうございます。

この度の新病院建設は移転した上に新しい病院を建て直すという事ですから、大変困難な事業であった事と推察致します。医療従事者の皆様は勿論、この様に立派な病院を建設いただけましたのも設計や施工、場所の選定やどのような病院にするかなど、数多くの構想を策定し具体的な形に実行、実現して下さった県や市の行政、各部署の職員の方々、その他関係各位のご尽力によるものと深く感謝申し上げます。

さて、この度から診療科に新しく歯科が加わりました。今までは病院に歯科がないため、医科の入院や治療が一段落した後に歯科医院を受診するというような関係にあったように思います。ですが、これからは病院を受診すれば病院内の歯科で口腔ケアを受けながら病気の治療を行う事が可能になります。糖尿病など病気によっては点滴や薬を飲むことと同じように口腔ケアも治療法のひとつになり得ると思われまますので、各科に及ぶ数多くの疾患の治療や予後にも貢献出来るものと信じております。

また、将来的には脳梗塞などで意識がない症例でも医科の治療と並行して口腔ケアをしていただき、健康な口腔内を維持し回復後の患者様のQOL向上の一助になればと期待しております。

新しい新庄病院によって医科歯科の連携がより進み、今まで以上に最上地域の医療の発展と地域の皆様の健康増進に寄与出来ますことは大いなる喜びであります。今後の新庄病院の発展を祈念致します。



地域救命救急センター ～地域連携を密にした医療体制～

従来、県内4医療圏の中で最上地域だけが救命救急センターが設置されていない地域でしたが、新病院では24時間・365日、救急医療を提供する「地域救命救急センター」を設置しました。当センターには常勤の専門医を配置し、10床の専用病床があります。

また、地域の夜間・休日の初期救急医療体制としては、新庄市が夜間休日診療所を運営しておりましたが、この夜間休日診療所を当センターに機能移転しました。

平日夜間と休日には、新庄市・最上郡医師会の先生方から初期診療をしていただき、更に高度な治療が必要な場合は当院の当直医に引継いでもらうこととなっています。

更にドクターヘリの発着場を敷地内に整備し、迅速な救急医療の提供を可能としています。



最上地域で初の「地域救命救急センター」では、救急科の常勤医師3名を配置してその運用に当たります。センターから手術室や集中治療室、CT検査などへの動線を短くして、救急時の迅速な診断から治療に素早く移行できるよう配慮されています。



病院東側の救急車専用入口です。一般の患者さんと動線を完全に分けてプライバシーに配慮しています。

救急車が到着するとシャッターの中に入り、患者さんを病院に引継ぎます。



病院東側の国道13号線からの救急車専用入口です。なお、一般の患者さんはこちらからは入れませんので正面入り口側からの駐車場をご利用ください。



ドクターヘリが離発着するヘリポートを敷地内に設置しています。従来のヘリと病院の間の救急車移送がなくなり、一刻を争う患者さんを少しでも早く医師の管理下に置き治療することができます。

総合患者サポートセンターについて

新病院には「総合患者サポートセンター」が設置され、**新庄病院、最上8市町村、最上保健所**が密に連携して、医療と介護・福祉に対する患者様やその家族からの様々な要望や相談に対してワンストップで、かつ切れ目なく対応します。



新庄病院

- ▶ **入退院支援機能** 各手続き、薬剤管理、栄養指導
- ▶ **退院支援・地域連携機能** 紹介・逆紹介、地域医療機関連携
- ▶ **相談機能** 医療相談、苦情対応、がん相談支援センター、がん患者サロン
- ▶ **情報発信機能** 病院情報の発信、健康教室等の実施、患者図書室の運営

最上地域保健医療対策協議会（最上8市町村共同）

在宅医療・介護連携拠点（@ホームもがみ）

- ▶ **地域の医療・介護支援の把握、施設の空き情報などの情報集約**
- ▶ **相談支援** 地域包括センター、医療・介護従事者からの相談への対応
- ▶ **医療・介護関係者の研修、情報共有の支援** 合同研修の開催など
- ▶ **地域住民への普及啓発** 在宅医療に関する普及啓発、講演会の開催など

山形県の相談窓口

最上総合支庁（最上保健所）

- ▶ **行政手続きの支援**
 - ・ 指定難病や肝炎による医療費助成の申請手続きの相談と支援
 - ・ 市町村窓口の紹介やリモート相談対応 など
- ▶ **保健所施策の発信、保健・福祉関係サービスの情報提供**

連携・情報共有

新病院の診療科について

内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／血液内科／腫瘍内科／腎臓内科
／糖尿病・内分泌内科／脳神経内科／緩和ケア内科／小児科／外科乳腺外科／
整形外科／形成外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻
咽喉科／放射線科／麻酔科／救急科／精神科・心療内科／歯科／リハビリテ
ーション科／総合診療科（院内標榜）

新病院開院時 28科（+7科）

各棟各階配置図

6 F	6階東病棟 呼吸器内科／耳鼻咽喉科 ／（感染症病床4床）	6階西病棟 外科／脳神経外科		
5 F	5階東病棟 消化器内科／形成外科	5階西病棟 循環器内科／人間ドック2床、（クリーンルーム）		
4 F	4階東病棟 小児科／整形外科／ 泌尿器科	4階西病棟 整形外科／産婦人科／眼科		
3 F	3階東病棟 地域包括ケア （緩和ケア4床）	管理部門		
2 F	21 リハビリテーション	24 大会議室		
	22 人工透析	25 手術室		
	23 化学療法室	26 救命救急病棟（ICU）		
1 F	A 小児科	E 産婦人科	6 図書室・カフェ	
	B 内科 消化器内科／循環器内科／ 呼吸器内科／血液内科／ 腫瘍内科／腎臓内科	皮膚科	7 売店	
	総合診療科 泌尿器科 精神科・心療内科	F 中央処置室	歯科	8 採血・採尿室
		G 地域救命救急センター	1 総合受付	9 生理検査室
		2 お薬窓口		10 内視鏡室
			3 総合患者サポートセンター がん相談支援センター	11 放射線科 放射線部①
	C 外科 乳腺外科	4 夜間休日窓口	12 放射線部②	レントゲン／CT／ MRI／血管造影
	整形外科 形成外科 脳神経外科 リハビリテーション科	5 （防災センター）		
	D 耳鼻咽喉科 眼科			

※番号、アルファベットは外来ストリート等の通路にあるサインを表しています。
これを目印に受付や各種検査、リハビリなど目的の所に行くことができます。

院内サインの一例



小児科



内科など



外科など



放射線部②



リハビリテーション

新病院の診療科について

○外来ブロック受付

従来、総合受付又は自動再来受付機で受付した後は、各診療科の窓口で受付していましたが、新病院では、ブロック受付方式に変わります。

受診したい診療科のブロック受付の大きなサインを目印に受診票等必要書類を出してください。



○正面玄関の大きな庇（ひさし）

正面の車寄せには県産材を使用した大きな庇がかかり、雨・雪を避けて車への乗降が可能となります。

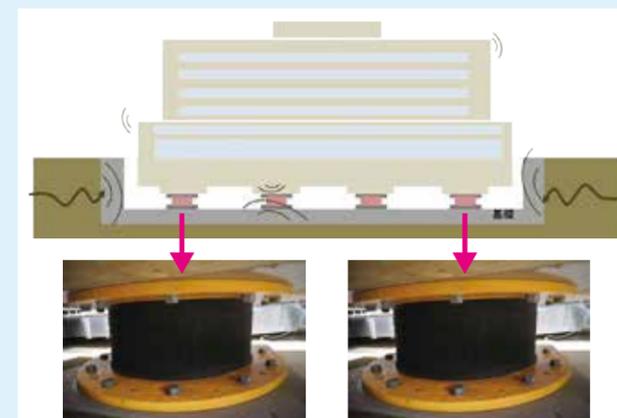
また、一般車・タクシー、福祉送迎バス、路線バスが同時に停車できる長さを確保しています。

○広い駐車場・屋根付き駐車場

旧病院では、患者さん用駐車場が少なく、大変ご不便をおかけしました。

新病院では約850台の駐車場を確保しました。

また、障がい者等用に豪雪に負けない頑丈な鉄骨造りの屋根付き駐車場を20台分整備しました。



○災害に強い病院

新庄病院は災害拠点病院に指定されています。このため、地震への備えとして免震構造となっており、4種類149基の免振装置が建物を支えています。

また、浸水対策として大規模な洪水の際の想定浸水高より高くなるよう盛土をしています。

各部門からの新病院情報

薬剤部からのお知らせ

新病院では1階の総合案内の隣にお薬の窓口が設置されていますが、薬を準備する調剤室などは2階にあり、1階の窓口とは直結していない構造となっています。1階窓口の職員が他業務で席を外している場合、ご対応までにお待たせすることがあります。

ご理解、ご協力のほどお願いいたします。



栄養管理室からのお知らせ

入院中の患者さんのお食事を運ぶ「配膳車」と食後の食器やお膳を運ぶ「下膳車」を新しく導入しました。これまでは、配膳も下膳も同じ台車を使用していましたが、それぞれの目的専用の台車を導入したことで、より衛生的にお食事を提供できるようになりました。

配膳車はこれまで同様、温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で提供できる保温保冷配膳車です。また、これまで使用していたお膳には仕切りがありましたが、新病院ではフラットタイプのものを使用しており、見た目にもご家庭の食事にぐっと近づきました。食器も新しいものを導入しています。

入院時、患者さん方の楽しみにもなるお食事ですので、美味しく安全に提供できるよう努めていきます。

配膳車



下膳車

